<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>タイトル</td>
<td>経済史：その方法と課題の二三の問題について</td>
</tr>
<tr>
<td>著者</td>
<td>増淵 龍夫</td>
</tr>
<tr>
<td>キューティックル</td>
<td>一橋論叢 35(4): 379-399</td>
</tr>
<tr>
<td>発行日</td>
<td>1956-04-01</td>
</tr>
<tr>
<td>タイプ</td>
<td>Departmental Bulletin Paper</td>
</tr>
<tr>
<td>版</td>
<td>publisher</td>
</tr>
<tr>
<td>リンク</td>
<td><a href="http://doi.org/10.15057/4056">http://doi.org/10.15057/4056</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
経済史

その方法と課題の二、三の問題について

増濱 龍夫

経済史を云う学問が、一體経済学の一部門なのか、或は歴史学の一部門なのか、或は鮮やに示するその底に現れる質問ならば大した問題ではないか、その様な質問を提出した書物や講義の間に、何か満されていないギャップを感じているのではないかと思う。もし従来の経済史の方法に、基本的な問題にも触れることになる。私達が経済史の研究を通じて明らかになるか。
経済生活の歴史と流れの中で、経済学の理論的な構成と実践的な手法が、それぞれの段階で対応している。したがって、経済学の理論と実践が、経済史の観点で分析されることが必要である。これにより、経済学の範囲が広がり、経済学の理論がより実践的に行われるようになることを期待したい。

歴史学の観点から、経済学の理論と実践が、それぞれの段階で対応している。したがって、経済学の理論と実践が、経済史の観点で分析されることが必要である。これにより、経済学の範囲が広がり、経済学の理論がより実践的に行われるようになることを期待したい。
この段階から次の段階へ移行する必然的な歴史的展開の自己の進行として、歴史が進行する当時の「曲線」を理解する。歴史の歴史的展開、経済の経済的展開、社会の社会的展開を理解する。「曲線」を理解するためには、歴史や経済、社会の歴史的経済的展開を理解することが必要である。歴史の歴史的展開、経済の経済的展開、社会の社会的展開のいずれか一方に偏りすぎると、全体の歴史的展開、経済的展開、社会的展開を理解することは困難になる。したがって、歴史的展開、経済的展開、社会的展開を理解するためには、それらの間の関係を理解することが必要である。

歴史的展開、経済的展開、社会的展開のそれぞれに偏りすぎると、全体の歴史的展開、経済的展開、社会的展開を理解することは困難になる。したがって、歴史的展開、経済的展開、社会的展開を理解するためには、それらの間の関係を理解することが必要である。
さきの、この様にして、経済史研究において、マルクス主義にについて後述するべくあたり、歴史の全生活関係の発展を規定する基本的法則を明らかにするものとして、資本主義の法則化は、経済史の位置づけに対する歴史学の反動が示された。マルクス主義経済学における方法に対する最も強烈な反撃は、まず歴史的、経済学の反動を、単に個別的、実証的歴史研究による豊かで歴史素材の提示によっては、実証的にその様な発展段階を論ずるためには、経済学の法則的把握に対する歴史学の反撃が、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理論を示すために、マクロニズムを経済学の理
オーゲンズの倫理とする資本主義の精神においても、その様々な方
法がきびしい実態を意味する。それは、西欧近代資本
主義を、マルクス主義の場合のように資本主義一般の問題
として理解しようとしたものではなく、西欧近代社会の内
み固有の他にはなく、類似のない、その歴史的性格を問
題としているのである。いわゆる「否認の」合理主義を
固有の歴史の特性としている西欧近代社会の特殊で個
性的な歴史現象として、近代資本主義を把握しようとしてい
るのである。彼によって問題は、普通の概念として
西欧近代資本主義の個有の問題を含むための個有の意味と
する態度として社会説明を概念化する方法をとらねば
ならぬのである。そこで考えねばならない、西欧近代資本
主義の経済的、社会的、政治的、歴史的、価値的、文化的、
情動的、心理的、生活的、生存的、主体的、目的的、知的、
倫理的、性格的、精神的、心理的、社会的、道徳的、
精神的、教育的、伝統的、文化的、宗教的、哲学的、
文学的、芸術的、美術的、科学的、技術的、産業的、
経済的、社会的、政治的、文化的、国際的、地域的、
内外の問題として社会説明を概念化する方法をとらねば
ならぬのである。そのために、先ず、それらの経済行為を
合理主義と云々、その個有の特性において自覚的に直観す
るウェーバーは、その問題を解くために、そのあくさ
リの経済組織は、そもそも人間のいかなる生活態度を
構成要因として成立し、形成されて来たのか、と云う問
題であるところの——として自覚的にうけとった。近代
資本主義がその様々な側面の性格において彼にとって問題
となるのは、その様々な芸術は演命として興えられた不可
避けた西欧の現実。西欧近代資本主義の個有の問題を
考えねばならない。そこで考えねばならない、西欧近代資本
主義の経済的、社会的、政治的、歴史的、価値的、文化的、
情動的、心理的、生活的、生存的、主体的、目的的、知的、
倫理的、性格的、精神的、心理的、社会的、道徳的、
哲学的、文学的、芸術的、美術的、科学的、技術的、産業的、
経済的、社会的、政治的、文化的、国際的、地域的、
内外の問題として社会説明を概念化する方法をとらねば
ならぬのである。そのために、先ず、それらの経済行為を
合理主義と云々、その個有の特性において自覚的に直観す
るウェーバーは、その問題を解くために、そのあくさ
リの経済組織は、そもそも人間のいかなる生活態度を
構成要因として成立し、形成されて来たのか、と云う問
題であるところの——として自覚的にうけとった。近代

事は、その生活態度を倫理的に性格付けていくものとして職業の概念を
高い、その個有の性格を把握、分析するの一つの方法である。ウエルバーにとっては、その観
野はとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析し、その観
野をとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析するの一つの方法である。ウエルバーにとっては、その観
野はとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析し、その観
野をとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析するの一つの方法である。ウエルバーにとっては、その観
野はとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析し、その観
野をとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析するの一つの方法である。ウエルバーにとっては、その観
野はとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析し、その観
野をとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析するの一つの方法である。ウエルバーにとっては、その観
野はとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析し、その観
野をとてましくない高い、自らの個有の性格を把握、分析するの一つの方法である。
368
己限定的法的自覚を理解しないものとわれなければならない。ウェーバーが東洋社会を研究する立場をとる上で、そのような問題にはすでに歴史の史実として提出された問題、彼自身の問題意識と問題設定は、その自覚に沿って考察されるのである。彼の自覚と問題意識に基づく考察は、彼の自覚をもってする。この考察は、東洋社会の自覚に基づいてなされる考察である。そして、彼の自覚に基づいてなされた考察は、東洋社会の自覚をもってする考察である。この考察は、彼の自覚をもってする考察である。
そこには、以上私達が問うて来たのは異った新
た内問題状況に対して来たのとは異った新しい
影響の下にその歴史の展開と改革を実現する課題として
いることである。東洋の諸民族の新しい歴史的展開
の一つの要因である。東洋の諸民族の面に見ても
る一つの要因である。西欧文化が影響を及ぼす
た以内問題状況に対して来たのとは異った新しい
影響の下にその歴史の展開と改革を実現する課題として
いることである。東洋の諸民族の新しい歴史的展開
の一つの要因である。東洋の諸民族の面に見ても
る一つの要因である。西欧文化が影響を及ぼす
た以内問題状況に対して来たのとは異った新しい
影響の下にその歴史の展開と改革を実現する課題として
いることである。東洋の諸民族の新しい歴史的展開
の一つの要因である。東洋の諸民族の面に見ても
る一つの要因である。西欧文化が影響を及ぼす
そこで普通の問題設定を許す共通の問題の場が、普通
的に人間性を含метる、ひょんと/orしたことを物語っている．
のであって、戦後、東洋社会と西欧社会を、それらの
両立的把握を、その歴史的、文化的背景を、それらの特別
性にかかって、それぞれの特有性、性別性を、それぞれの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの
史的把握を、その機能を有する、普通の問題、戦後、東洋
社会と西欧社会を、それらの特別性にかかって、それらの

特殊的実態をとつて表われると云う問題方向に
おいて問題が追求され、具体的特殊の多様な歴史事象によ
って、抽象的運動法則の諸概念は再検討され、それご
の具体個有の歴史観の主観的決定の要因を、具体的能動
的把握しようとする歴史主義的問題を、もとにとり
て、有力な認識手段としての武器を提供することに
なり得るものである。しかししながら、史的唯物論の個
々の段階概念及び段階列を定式化し、その実式を動
の手続きとして、個別的歴史的事実への肉厚を意
る限界内では、経済生活の具体そのの中に普通
的法則を明かし、その法則にとる歴史一般を解
し、あるマルキシズムの経済史理論と、歴史の生
の根源から個別化して行く歴史事の研究傾
向を、相織れる契機をもたないで、その研究いづ
れかであり得るか、経済歴史は経済学なるか、歴史事実のかと
ることになる。
それらの論争を未だ十分の結実を見ないで、問題はむしろ将来に多くのこきせられている。それらの論争は未だ十分の結実を見ないで、論争が今後さらに展開されると考えられるものである。論争は未だ十分に発表されずに、雑誌『歷史的諸問題』に掲載された十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施しており、古代史の多分問題に関連している。雑誌『歷史研究』に掲載されている十二人の学者の論文は、解読されている。数百万の論文の試みを実施ており
「問題は、私達の心に残っている」というつぶらな言葉が、私達の心情をより深く理解させる。私達の心情は、歴史的現実を反映し、それを生きる私たちの心情を反映する。ある人的な心情が、私達の心情を反映するのである。

一方で、私達の心情は、私達の生活を反映する。私達の生活は、私達の心情を反映する。私達の心情は、私達の生活を反映する。私達の心情は、私達の生活を反映する。

私達の心情は、私達の生活を反映する。私達の心情は、私達の生活を反映する。私達の心情は、私達の生活を反映する。私達の心情は、私達の生活を反映する。
第四編 東洋経済史
昭和二四年
春秋社
及びその後
の新しい研究文献と各専門領域における問題概念について
は、社会経済史学会編一戦後における社会経済史
学の発
（一）
（二）
（三）
（四）
（五）
（六）
（七）
（八）